

00545

# 鳥取縣公報

縣令

第四百七十四號

昭和八年十一月二十一日

火曜日

◇鳥取縣令第三十六號

自動車運輸事業以外ノ自動車ニ依ル運送事業規則施行細則左ノ通定ム

昭和八年十一月二十一日

鳥取縣知事 館 哲 二

自動車運輸事業以外ノ自動車ニ依ル運送事業規則施行細則

第一章 通 則

第一條 自動車運輸事業以外ノ自動車ニ依ル運送事業規則（以下單ニ運送規則ト稱ス）ニ依リ知事ニ提出スベキ申請書又ハ届書ハ營業所所在地ノ所轄警察署長ヲ經由スベシ

第二章 申 請 手 續

00543

第二條 運送規則第三條ノ申請書ニハ同條ニ規定セル事項ノ外左ノ事項ヲ具スベシ

一 事業費ノ概算書(總額、内譯及出資方法ヲ詳細)

二 申請者法人ナルトキハ其ノ名稱、事務所所在地代表者ノ住所、氏名及定款ノ謄本

三 事業所又ハ車庫ノ土地若ハ建物ニシテ他人ノ所有ニ屬スルトキハ其ノ所有者又ハ管理者ノ承諾書

四 他人ノ車庫ヲ使用スルモノニ在リテハ車庫主ノ承諾書運送規則第二條ノ規定ニ依ル運送事業ノ申請書ニハ前項各號ノ外左ノ事項ヲ具スベシ

一 道路ノ種類及其ノ有効幅員

二 路線總延長ノ杆數及起點終點ノ地名地番(通稱アルトキハ之ヲ附記スルコト)

三 停留所ノ名稱及地名番地

四 主ナル經過地及停留所ノ位置竝相互間ノ距離ヲ明示セル陸地測量部發行ニ係ル五萬分ノ一ノ地圖添附

第三章 届 出 事 項

第三條 運送事業者事業ヲ開始シタルトキハ十日以内ニ知事ニ届出ヅベシ

00547

運送其業者事業開始後引續キ休業九十日以上ニ及ブトキハ事業ノ免許ハ其ノ効力ヲ失フモノトス

第四條 運送事業者五日以上引續キ休業セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ニ届出ヅベシ

第五條 運送事業者自動車運轉者(以下單ニ運轉者ト稱ス)ヲ雇入タルトキハ其ノ本籍、住所、氏名ヲ五日以内ニ知事ニ届出ヅベシ

第六條 運送事業者車掌ヲ雇入タルトキハ其ノ本籍、住所及氏名生年月日ヲ具シ健康診斷書ヲ添附五日以内ニ所轄警察署長ニ届出ヅベシ

車掌ヲ解雇シ又ハ車掌死亡シ若ハ行衛不明トナリタルトキハ十日以内ニ所轄警察署長ニ届出ヅベシ

第四章 制 限 事 項

第七條 車掌ハ滿十四歲以上ノ者タルコトヲ要ス

車掌トシテ不適當ト認ムルトキハ所轄警察署長ハ運送事業者ニ對シ解雇ヲ命ズルコトヲ得

第八條 運送事業者ハ十六歲未滿ノ者及女子ヲシテ一日ニ付十一時間ヲ超エテ就業セシメ又ハ

午後十時ヨリ午前五時ニ至ル間ニ於テ就業セシムルコトヲ得ズ

第九條 運送事業者ハ十六歳未満ノ者及女子ニ對シ毎月二日以上ノ休日ヲ與フベシ但給料ヲ減額スルコトヲ得ズ

第十條 運送事業者ハ運轉者ニ對シ毎二十四時間ニ付繼續八時間以上ノ休養ヲ與フベシ

第十一條 貨物運送用自動車ニハ貨物運搬若ハ積卸ニ從事スル者ニシテ運轉台ニ乗ル場合又ハ貨物運送上責任ヲ有スル者其ノ貨物看守ノ爲ニ乗車スルノ外乗車シ又ハ乗車セシムベカラズ但特別ノ事由ニ依リ出發地所轄警察署長ノ許可ヲ得タル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

#### 第五章 遵 守 事 項

第十二條 運送事業者ハ左ノ事項ヲ遵守スベシ

- 一 事業所内見易キ箇所ニ運賃表ヲ掲示スルコト
- 二 旅客運送用自動車ノ客室内見易キ箇所ニ旅客定員、運賃表及運轉者ノ氏名ヲ表示スルコト
- 三 走行距離ニ依リ運賃ヲ算定スル自動車ニハ乗客ノ見易キ箇所ニ完全ニ運賃ヲ表示スル「タキシメーター」ヲ備付クルコト
- 四 前號ノ「タキシメーター」ヲ備付又ハ之ヲ變更シタルトキハ使用前知事ノ検査ヲ受クルコト

五 貨物運送用自動車ニハ後部見易キ箇所ニ積載定量ヲ表示スルコト

六 名義ノ何タルヲ問ハズ定額以上ノ賃金ヲ請求シ若ハ請求セシメザルコト

七 宿屋、料理屋等ト提携シテ乗車ノ勧誘ヲ爲シ又ハ爲サシメ若ハ家族、使用人ヲシテ之ヲ爲サシメザルコト

第十三條 運送事業ニ従事スル運轉者及車掌ハ就業中左ノ事項ヲ遵守スベシ

- 一 服裝ハ洋服及靴ヲ用ヒ常ニ清潔ニシテ端正ニ之ヲ着用スルコト
- 二 車室ハ常ニ清潔ヲ保持スルコト
- 三 運轉中濫ニ雜談セザルコト
- 四 公衆ニ對シ濫ニ乗車ヲ勧誘シ又ハ名義ノ如何ニ拘ラズ定額以上ノ賃金ヲ受クベカラザルコト
- 五 乗客ノ求ナキ場所ニ至リ又ハ故意ニ迂回ノ路ヲ採ラザルコト
- 六 正當ノ事由ナク發車ヲ拒ムベカラザルコト
- 七 乗客降車ノ際ハ遺留品ノ有無ニ注意スベキコト
- 八 客席外ニ客ヲ乗車セシメザルコト但十二歳未満ノ者ハ二人ヲ以テ一人ト看做シ四歳未満ノ

00550

者ハ定員ニ算入セズ

九 老幼婦女又ハ病者、不具者乗降ノ際ハ特ニ保護スベキコト

運轉者ハ就業中前項ニ規定スル各事項ノ外左ノ事項ヲ遵守スベシ

一 自動車二輛以上連續シテ進行スルトキハ後車ハ前車ヨリ二二米以上ノ距離ヲ保ツコト

二 牛馬ニ近ツクトキハ速度ヲ緩メ恐怖セシメザル様注意スベキコト但牛馬驚奔シ又ハ其ノ虞アルトキハ直ニ停車スルコト

三 雨雪泥濘ノ際ハ運轉速度ヲ調和シ人家若ハ他人ニ迷惑ヲ及ボサザル様注意スルコト

四 隧道内ハ夜間ニ於ケルト同様ノ制規ノ燈火ヲ點ズルコト

五 消防機械、郵便車若ハ軍隊其ノ他ノ隊伍及葬列ニ行遭ヒタルトキハ其ノ進行ニ障礙ナ

キ様徐行又ハ停車シ若ハ避讓スベキコト

六 警察官吏ヨリ舉手其ノ他ノ方法ニ依リ停車ヲ命ゼラレタルトキハ直ニ停車スベキコト

第十四條 自動車ノ乗客ハ左ノ事項ヲ遵守スベシ

一 機械裝置ニ手ヲ觸レザルコト

二 進行中乗降シ又ハ運轉者ニ話掛ケ又ハ乗降口ノ扉ヲ開キ若ハ肢體ヲ車外ニ出サザルコト

00551

三 物品ヲ車外ニ投棄セザルコト

前項ニ掲グル行為ヲ爲ス者アルトキハ運轉者ハ之ニ注意ヲ與ヘ尙肯ゼザルトキハ乗車ヲ拒絕シ又ハ降車セシムルコトヲ得

### 第六章 自動車車庫

第十五條 車庫ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル地域内ニ設置スルコトヲ得ズ

一 橋梁、隧道、踏切又ハ道路交叉点若ハ曲角ヨリ二十米以内ノ場所

二 有効幅員五、四米未滿ノ道路ニ面スル場所但前面ノ空地ト道路ノ幅員ヲ加ヘテ五、四米以上ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

三 學校、幼稚園及病院ヨリ離ルルコト三十米以内ノ場所

四 前各號ノ外交通竝保安上支障ヲ生スベキ虞アル場所

第十六條 車庫ノ構造設備ハ左ノ制限ニ從フベシ

一 床ハ不滲透質ノ材料ヲ以テ築造シ且適當ナル排水設備ヲ爲スコト

二 木造建車庫ニ在リテハ壁體ノ内面及天井ハ鐵板又ハ不燃質材料ヲ以テ築造スルコト

三 建物ノ一部ヲ車庫トシテ使用スルトキハ他ノ部分ト完全ニ區劃シ出入口ヲ設ケタルトキハ

00552

其ノ扉ハ不燃質材料ヲ以テ築造スルコト

四 車庫ニハ揮發油類ノ消火ニ有効ナル設備ヲ爲スコト

五 油類ヲ貯藏スルトキハ周圍ヲ不燃質物ヲ以テシ完全ナル鎖鑰ヲ施スベシ

第十七條 車庫ノ設置地域又ハ構造設備ニシテ前二條ニ依リ難キトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ノ許可ヲ受クベシ

第十八條 車庫ハ所轄警察署長ニ届出デ検査證ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第十九條 車庫ニ於テハ左ノ各號ヲ遵守スベシ

一 附屬品其ノ他自動車ノ必需品ヲ除クノ外他ノ物品ヲ格納セザルコト

二 車庫ハ他ノ用途ニ使用セザルコト

三 安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用シ又ハ喫煙セザルコト

四 見易キ箇所ニ事業者名及格納自動車車輛番號ヲ掲出スルコト

五 車庫ハ常ニ清潔ヲ保持スルコト

六 前各號ノ外所轄警察署長ヨリ指シセラレタル事項

第二十條 車庫内ニハ地下室ノ外油類ヲ貯藏スルコトヲ得ズ

00553

第二十一條 車庫ニシテ交通竝保安上支障ヲ生ズル虞アリト認ムルトキハ必要ナル施設ヲ命ジ又ハ其ノ使用ヲ禁止シ若ハ制限スルコトアルベシ

第七章 準 用 規 定

第二十二條 本令中左ノ規定ハ自動車運輸事業者ニ之ヲ準用ス

第一條 (通則)

第五條 (運轉者ノ雇入及解雇届出)

第六條 (車掌ノ雇入及解雇届出)

第七條二項 (車掌ノ解雇命令)

第八條 (就業時間ノ制限)

第九條 (休日制度)

第十條 (休養制度)

第十二條第一項第五號 (積載定量ノ表示)

第十三條 (運轉者及車掌ノ遵守事項)

第十五條乃至第二十一條 (自動車車庫ニ關スル規定)

00554

第二十四條乃至第二十七條 (罰則ノ規定)

第二十三條 本令中左ノ規定ハ自家用トシテ自動車ヲ使用シ又ハ運轉スル者ニ之ヲ準用ス

第一條 (通則)

第五條 (運轉者ノ雇入及解雇届出)

第十條 (休養制度)

第十一條 (貨物自動車ノ乗車者ノ制限)

第十二條第一項第五號 (積載定量ノ表示)

第十三條第二項 (運轉者遵守事項)

第十四條 (乘客遵守事項)

第十五條乃至第二十一條 (自動車車庫ニ關スル規定)

第二十四條乃至第二十七條 (罰則ノ規定)

第八章 罰 則

第二十四條 第八條 (就業時間ノ制限) 第九條 (休日制度) 第十條 (休養制度) 第十二條 (運送事

業者ノ遵守事項) 第十三條 (運轉者及車掌ノ遵守事項) 第十九條 (車庫ニ於ケル遵守事項) 第

00555

二十條 (油類貯藏制限) 及第七條第二項 (車掌ノ解雇命令) 竝第二十一條 (車庫使用上制限命  
令) ニ基ク處分ニ違反シタルモノハ拘留若ハ科料ニ處ス

第二十五條 第三條第一項 (營業開始ノ届出) 第四條 (營業休止ノ届出) 第五條 (運轉者ノ雇入及

解雇等ノ届出) 第六條 (車掌ノ雇入及解雇等ノ届出) 第十一條 (貨物運送用自動車ノ乗車制限)

及第十八條 (車庫ノ使用) ニ違反シタルモノハ科料ニ處ス

第二十六條 運送事業者未成年者ナルトキハ本令ノ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但營業ニ關シ成

年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

運送事業者ハ其ノ代理人、戸主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本令ニ違反シタ

ルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

法人ノ代表者及其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ本令ニ違反シタルトキハ其ノ罰則ハ會社ノ代

表者ニ適用ス

第二十七條 本令ニ規定シタル違反行爲ヲ教唆又ハ幫助シタル者ハ各其ノ罰則ニ照シ之ヲ處罰ス

附 則

第二十八條 本令施行當時現ニ許可ヲ受ケ設置セル自動車ノ車庫ハ本令第十八條ニ依リ検査證ヲ受

00556

ケタルモノト看做ス但第十六條ノ構造設備ノ制限ニ適合セザルモノハ本令施行後六ヶ月以内ニ  
改造シ所轄警察署長ノ検査ヲ受クベシ  
第二十九條 本令ハ公布ノ日ヨリ實施ス

### 訓 令

◆鳥取縣訓令甲第十六號

市 町 村 長

市町村吏員印章規程左ノ通定ム

昭和八年十一月二十一日

鳥取縣知事 館 哲 二

#### 市町村吏員印章規程

第一條 市町村長、助役及收入役ノ印章ハ左ノ様式ニ依リ之ヲ調製スベシ

00557

二・一 糧平方

鳥 取 縣  
何 市  
長 之 印

一・八 糧平方

鳥 取 縣  
何 市  
助 役 之 印

一・八 糧平方

鳥 取 縣  
何 市  
收 入 役 之 印

鳥 取 縣

何郡何町(何村何村組合)  
長 之 印

鳥 取 縣

何郡何町(何村何村組合)  
助 役 之 印

鳥 取 縣

何郡何町(何村何村組合)  
收 入 役 之 印

第二條 市町村副收入役ノ印章ハ收入役ノ印章ニ準ジテ之ヲ調製スベシ

市町村長、助役、收入役若ハ副收入役ノ臨時代理者及收入役代理者ノ印章ハ各本職ノ印章ニ準

ジテ之ヲ調製スベシ

第三條 前二條ノ印章ヲ調製シタトキハ別記様式ノ印鑑箋ニ印影ヲ押捺シ之ヲ添附シテ直ニ届

出ヅベシ

前二條ノ印章ヲ廢止シタルトキハ直ニ届出ヅベシ

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正七年一月鳥取縣訓令第三號市町村長助役收入收印章雜形ハ之ヲ廢止ス

本規程施行ノ際現ニ使用スル印章ハ第一條及第二條ノ規定ニ拘ラズ引續キ之ヲ使用スルコトヲ得但

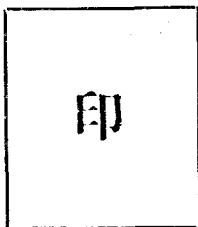
シ本規程施行後十日以内ニ第三條第一項ノ例ニ準ジ届出ヅルコトヲ要ス

別記

印 鑑 箋 様 式

横 一・二・八 厘

何 郡 市 何 町 村 (合組) 何 之 印



縦 一・八・二 厘

紙質美濃厚紙

調製	年	月	日	廢止	年	月	日
日	年	月	日	日	年	月	日



# 告示

◆鳥取縣告示第四百六十一號

昭和八年十一月縣參事會ノ議決ヲ經タル昭和八年度鳥取縣歲入歲出追加更正豫算、同年度教育資金歲入歲出追加豫算同年度自作農創設維持獎勵資金歲入歲出追加更正豫算並同年度罹災救助基金歲出追加更正豫算ノ要領左ノ通

昭和八年十一月二十一日

鳥取縣知事 館 哲 二

昭和八年度鳥取縣歲入歲出追加更正豫算

歲 入

經常部

第十二款 雜 收 入

△印ハ減高

三、一三四

第六項 過 年 度 收 入

三、一三四

00561

00560

歲入經常部計

臨時部

三、一三四

第二款 國庫補助金

△

五一

第三款 勸業費補助金

△

五一

第一款 寄附金

二、二五〇

第五款 繰入金

一七、〇〇〇

第一項 特別會計繰入金

一七、〇〇〇

歲入臨時部計

一八、七三九

歲入合計

二一、八七三

歲 出

經常部

第九款 勸業費

二八〇

第三項 農業試驗場費

二八〇

歲出經常部計

臨時部

二八〇

第九款 勸業補助費 △

五四一

第一項 勸業補助費 △

五四一

第二十五款 時局匡救事業費

二、二五〇

第三項 監督指導費

二、二五〇

第三十款 雜出

二、八八四

第三項 過年度返納金

二、八八四

第三十二款 災害復舊費

一七、〇〇〇

第一項 災害復舊費

一七、〇〇〇

歲出臨時部計

二一、五九三

歲出合計

二一、八七三

昭和八年度教育資金歲入歲出追加豫算

歲入

第一款 教育資金

二三、九九五

第三項 繰越金

二三、九九五

歲出

第一款 教育資金

二三、九九五

第一項 貸付金

二三、九九五

昭和八年度自作農創設維持獎勵資金歲入歲出追加更正豫算

歲入

△印、減高

第一款 自作農創設維持獎勵資金

△ 九五、八七七

第一項 國庫補助金

△ 一、五六一

第二項 償還金

五、四三四

第三項 縣債

△ 一〇〇、〇〇〇

第六項 前年度繰越金

二五〇

歲出

第一欸 自作農創設維持獎勵資金 △ 九五、八七七  
 第一項 償還金 △ 五、七八七  
 第三項 貸付金 △ 九〇、一九〇  
 第四項 審議會費 一〇〇

昭和八年度罹災救助基金歲出追加更正豫算

歲出 △印ハ減高

第一欸 罹災救助基金 一円  
 第三項 元資編入金 △ 一七、〇〇〇  
 第五項 一般會計繰入金 一七、〇〇〇

◇鳥取縣告示第四百六十二號

左記ノ者ニ對シ昭和八年十一月十八日動力糶摺業免許證ヲ下付セリ

昭和八年十一月二十一日

鳥取縣知事 館 哲 二

住 所	氏 名
八頭郡社村大字古用瀬三六九	小 谷 辰 藏
氣高郡勝谷村大字中園 二五	原 田 精 一
同 同 大字岡木一〇八	木 下 兼 次 郎
東伯郡花見村大字長江一六七	山 根 一 二
同 小鴨村大字岡田二〇ノ一一	山 涌 金 藏
同 南谷村大字松河原七一	山 崎 久 雄
同 下北條村大字下神 三九	岩 垣 義 雄
同 安田村大字八幡一、一〇〇	田 中 作 一

西伯郡庄内村大字押平五三二				中	原	平次郎
同	同	大字高田一五〇		近	岡	房二
同	同	大園村大字絹屋二〇八		福	田	篤正
同	同	手間村大字田住二二九		福	井	唯夫
<p>◇鳥取縣告示第四百六十三號          管下八頭郡八東村大字東ニ於テ左記ノ通家畜傳染病發生セリ          昭和八年十一月二十一日</p> <p>鳥取縣知事 館 哲 二</p>						
病名	畜類	性	年齡	發病年月日	轉歸年月日	
氣腫疽	牛	牝	五才	昭和八年十一月五日	昭和八年十一月六日斃死	

昭和八年十一月廿一日印刷  
昭和八年十一月廿一日發行

發行者 鳥取縣 鳥取市東町 縣  
印刷所 鳥取縣氣高郡大正村大字古海 縣  
鳥取刑務支所